



2022年3月1日

日本鉄道労働組合連合会

ジェイアール・イーストユニオン第8回中央委員会 イーストユニオンへの総結集を図り、 「ONE TEAM」で春闘を闘いぬく！

ジェイアール・イーストユニオンは2月14日、東京都内において、第8回中央委員会を開催した。開催にあたっては、感染予防に万全を期し、本部・新潟地本・仙台地本に会場を設け、これをWEB会議システムのZoomで繋ぐリモート形式での開催となった。



冒頭、主催者挨拶に立った菅野一位中央執行委員長（JR連合副会長）は、「JR東日本の将来を担う人材への投資となるベア獲得に向け、JR連合方針に則り『ベア1,000円』を掲げた方針を提起する。JR東日本の未来づくりのため、真に必要なとされる企業内労働組合としての私たちの運動の意義が今こそ問われている。意義を訴える運動の展開を望む」と力強く訴えた。



来賓としては、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属し、今夏の第26回参議院議員選挙でイーストユニオンが支援を行う川合孝典参議院議員、2019年の第25回参議院議員選挙でイーストユニオンが支援を行った田村まみ参議院議員がそれぞれZoom上で出席のうえ、「コロナ禍でダメージを受けたJR産業を支援するため、引き続き全力でサポートする」旨、力強く連帯の挨拶を行った。

JR連合からは宮野勇馬企画部長が出席し、「未加入者が大半である現在の状況は異常事態であり、JR東日本の労使の持続的発展のためにも、JR連合への結集に向けた取り組みを引き続きお願いしたい」と挨拶した。

議事では、当面の活動方針として、「安全の確立」に向けた取り組み、「民主化闘争完遂・組織強化拡大」に係る取り組みや、「定期昇給4係数の実施」「ベア1,000円の賃金改定」の要求を軸とする2022春闘の取り組みが提起された。

質疑については今回、感染防止のために中央委員から事前に集約し、春闘方針や会社施策展開への対応方、安全確保に向けた取り組み、組織強化拡大の取り組み等について意見が出された。

これらの意見に対する執行部答弁の後、活動方針が満場一致で承認された。最後は、「ジェイアール・イーストユニオンがJR産業に集う全ての人材を包摂する運動の輪を創る」とともに、「真に信頼される企業内労働組合をJR東日本に築き、未来に継承していく」ことを満場一致で確認し、菅野委員長が団結がんばろうで委員会を締めくくった。